

■泉鏡花 「高野聖」など幻想的な小説で人気を得、自然主義隆盛で不遇になるも次々創作、近年再評価の声が高い。

いずみきょうか

明治6年政変 1873= 金沢生れ。父清次は腕のいい彫金師で、母鈴は江戸葛野流の鼓打ちの娘。

鏡花文学には父方の工人の血と、母方の芸能の血とが一つになって流れることになる。

明治14年政変 1881= 8歳：

新体詩抄・・・1882= 9歳：母が死去。

秩父事件・・・1884=11歳：金沢のミッションスクール北陸英和学校に学ぶ。

国民之友始・・・1887=14歳：同校を卒業。

やがて貸本などにより多くの小説類を耽読、

帝国憲法発布 1889=16歳：

帝国議会始・・・1890=17歳：小説家たらんとして上京。

足尾鉦毒始・・・1891=18歳：尾崎紅葉の最初の門人となる。

郡司千島探検 1893=20歳：京都「日出新聞」に「冠弥左衛門」を、

日清戦争始・・・1894=21歳：「読売新聞」に「義血侠血」を連載。父清次が死去し、祖母や弟をかかえて生活苦を味わう。

日清戦争終・・・1895=22歳：\*「義血侠血」が「滝の白糸」として上演される。「夜行巡查」「外科室」を当時最大の文芸誌の一つであった「文芸倶楽部」に発表するに及んで観念小説と名づけられ、新進作家として脚光をあびる。

白馬会・・・1896=23歳：\*「照葉狂言」を「読売新聞」に発表、少年を主人公とする清新な抒情で新しい境地をきりひらく。

Bushidou・・・1899=26歳：すず(神楽坂の芸妓桃太郎、鏡花の母と同名)を知る。

ピアノ国産化・・・1900=27歳：\*やがて「高野聖」などにおいて、師紅葉を超えるほどの人気作家となる。

日比谷公園・・・1903=30歳：すずと同棲、紅葉の怒りにあつて一度は離別するが、同年紅葉没後結婚したことは有名。

その後活弁になる自然主義文学の隆盛の影響をうけ、文壇的には不遇となるが、その間にも「春昼」、

日露戦争終・・・1905=32歳：

満鉄発足・・・1906=33歳：「湯島詣」初演。

韓国反日暴動 1907=34歳：「婦系図」、

アヲホ創刊・・・1908=35歳：「草迷宮」など幻想的な作品を多く発表する。「婦系図」初演。

伊藤博文暗殺 1909=36歳：「白鷺」、

韓国併合・・・1910=37歳：「歌行灯」といった風俗性の濃い作品でもすぐれた業績を示したが、

明治天皇没・・・1912=39歳：

大正政変・・・1913=40歳：井上正夫が最初の野外劇で鏡花原作の「紅玉」を上演。

21ヶ条要求・・・1915=42歳：「日本橋」初演。

ロシア革命・・・1917=44歳：\*戯曲「天守物語」などで独特の幻想世界をくりひろげ、

本格政党内閣 1918=45歳：

ベルリン条約・・・1919=46歳：「由縁の女」。

大暴落・・・1920=47歳：「伯爵の釵」。

原敬首相暗殺 1921=48歳：

水平社結成・・・1922=49歳：「身延の鶯」「十六夜」。

護憲三派圧勝 1924=51歳：「眉かくしの霊」。

治安維持法・・・1925=52歳：「番町夜講」。

金融恐慌・・・1927=54歳：「多神教」。

共産党事件・・・1928=55歳：円本で「鏡花集」。

海軍軍縮条約 1930=57歳：「木の子説法」。

満州事変・・・1931=58歳：

五一五事件・・・1932=59歳：「菊あはせ」。

帝人疑獄事件 1934=61歳：「斧琴菊」。

二二六事件・・・1936=63歳：戯曲「お忍び」。

日中戦争始・・・1937=64歳：連載大作「薄紅梅」。

第二次大戦始 1939=66歳：「縷紅新草」を最後に、癌性肺腫瘍のため\_没した。